

お知らせ

7月31日(金)は、全書記決起集会のため、事務所を閉鎖させていただきますので、ご了承ください。また、8月12日(水)～8月14日(金)は夏期休暇となりますので、ご了承下さい。

7月1日現在組合員数…2,008名



発行所
東京土建一般労働組合
南部ブロック会議
品川区戸越5-18-2
☎(3783)0471
代表者 井澤典一
定価 1部 50円
(購読料は組合費に含まれています)

見事に4週連続、雨知らず!

第49回 住宅デー開催!

第49回住宅デーが、5月31日(※西品川&後地)、6月7日(豊越・大井・五反田・豊・二葉分会)、6月14日(※品川・南品川分会)、6月21日(※小山・中延&旗中分会)の4週に渡り、品川区内合計10会場で開催されました。

梅雨時期という事もあり、天候が心配されましたが、どの開催日も大きな天候の崩れもなく、日によっては汗ばむ陽気もありました。

各分会とも、包丁研ぎだけではなく、工夫を凝らした催し物で集客をはかり、地域住民からの喜びの声も聞かれ、無事に終えることができました。



開始前から多くの来場者(大井分会)

笑顔が集まる住宅デー

大井分会
中橋 英二

6月7日(日)大井分会の住宅デーを開催した浜川公園は、南大井4丁目にある浜川小学校の目の前にあり、見通しが良くフェンス付きの広場があり、休日にはボール遊びができるため、多くの子供たちで賑わっています。2～3年前くらいにリニューアルして遊具も豊富で地元でもとても綺麗で人気のある公園です。

毎年大井分会ではここで住宅デーを開催しており、今年は組合員16名・主婦の会2名、初参加2名の合計18名で行ないました。

当日の催し物の結果は、包丁研ぎ72丁、まな板削り4枚、ヨーヨー釣り100個、ポップコーン80個、磯辺焼き40個、フランクフルト80本、三陸ワカメ20袋と、ほとんどが午前中の内に完売となりました。毎年の事です、午前中が勝負です。午後は雨予報もあり、人でもパッタリとなり少し残念でした。

なお当日は、西本・松永両品川区議が来場され、全建総連からの視察もあり、住宅デーの様子を沢山写真に収めていただきました。

来年もまた、今年以上に来場者が増えることを願いガンパロウとします。

開始前から行列が

中延分会
上野山和男

朝方迄降っていた雨も上がり、空も明るくなり、ホッとしながら昨日用意した品物を車に乗せ出発。

会場には支部会館より運び込まれた資材を設置する最中で、まずはタープを組立て、机・イスをセットし、住宅デーを知らせる幕や色とりどりの風船を取り付けると会場らしくなる。

車から、主婦が担当するバザーの品物や、三陸ワカメ・コンブ等を降ろし、真新しいブルーシートに並べる方にたくす。

ある程度担当は決めていたが、あつという間にそれぞれの位置で準備し、お客さんを待つ。出足は良く開始前には包丁研ぎの受付には行列ができ、この日を待っていたようだ。研ぎ手がやや少ない感じがしたが、受付が終わった包丁が並んで、汗をかきながらの仕事は、頭が下がる思いだ。

会場は公園なので回復した天候のもと、親子連れの若い方が多く訪れていた。

初めてのカキ氷屋さんには子供たちが並んで、担当者は四苦八苦しながらも楽しんでいて、途中で氷がなくなり、何度も買いに走り、スーパーボールには幼児が集まっていた。

また、主婦のバザーや海産物は、ワカメは完売で、コンブは少し残ったようで、バザーは“それなり”だった。

私は研ぎ上がった包丁を、包んだり袋に入れたり、結構忙しく、141丁はすごかった。住宅相談も4件あったようで、最後は内田旗中分会長の挨拶で締めとなった。

大満足な一日に

旗中分会
津田 順子

6月21日、中延分会と旗中分会合同で住宅デーを開催しました。当日は途中少し霧雨が降ったものの、曇りから晴れという天気恵まれました。

包丁研ぎは141丁集まり、研ぎ手の方たちは大変でしたが大盛況でした。催し物も、かき氷やスーパーボールすくいに、お子さん達が集まってくれて、バザーや三陸わかめ&昆布販売は、大人の方達に好評でした。

当日は昼からワールドカップサッカーの日本戦があり集客が心配されましたが、いつも以上の賑わいに忙しいながらもホッとしました。

しかもサッカーも4-0で日本の勝利ということで大満足な1日でした。



昭和レトロな「かき氷機」で(中延&旗中分会)

断トツの141丁!(中延&旗中分会)

建前

▼先日、読売ジャイアンツの阿部監督が逮捕されるという事件が起きた◆野球にあまり興味がな

い私でも「事件を起こすような人に見えない」と思い、様々な報道を見たが、どうやら自宅に酒に酔っていた阿部氏が、娘たちの喧嘩を仲裁しようとしたところ激昂◆長女へ暴行をしてしまったとの事◆この時、長女が一連のことをA Iに相談し、回答に沿った行動を取ったことで児童相談所から警察へ通報が入り、警察が急行・逮捕となった◆もちろん暴力は許されないが、普段からの家族のことを知っていたら、大事には至らなかったのでは◆我々の日常生活に溶け込んだA I◆人が何時間もかけて調べるところを、瞬時に回答してくれる、便利この上ないツールであることは間違いない◆今回の事件でA Iは、相談を客観的に捉え、命を守る機能を最大限発揮した◆だがその一方でA Iは、「テキスト」のみで判断するため、過性の喧嘩や愚痴といった、人間が持つ特有の文脈やニュアンスを読み切れず、機械的に過剰反応してしまう危うさがある◆私たちにはA Iを便利な相談相手として頼りつつも、最終的な判断と行動の責任は常に人間側にあるとの認識が求められるのではないだろうか◆(豊越分会 河崎弘樹)

和菓子屋でチラシを見て

豊分会
富 彌 良則

豊分会は6月7日、ゆたか防災広場で住宅デーを開催した。

梅雨走りの小雨のばらつく空模様で来場者も少なく、それでも何とか包丁研ぎ61本であったが、ワカメ、ナスは完売。

子ども向けの取り組み（輪投げ、ヨーヨー釣り、綿あめ）は列ができ、「お父さん、綿あめ食べていい?」「いいよ」「ヤッパ!」との微笑ましい会話も聞こえた。担当のFさんも、手に綿あめを巻きながらの奮闘でした。お疲れ様。

包丁研ぎ最後のお母さんは、片付始めた受付締め5分前に持ってきた。家は近所ではないが、娘さんの習い事の迎えで遅くなったとのこと。近くの和菓子屋で置いてあったチラシを見つけて包丁を持って来たとのことであった。近所のお店にチラシを置かせてもらうのも効果はあるんだと実感。

「また来年の今ごろ、ここでやりますよ」とダメ押ししておいた。



来場者にお花のプレゼント(豊分会)

組合員の暮らしと生活を守るために訴え続ける!

消費税減税と建設業への緊急支援を求める駅頭宣伝行動

午前中は雨も降っていましたが、夕方には雨も止んだ、梅雨入り後の6月15日。消費税の減税を訴える駅頭宣伝行動を、大井町と戸越銀座駅の2駅で行ないました。

今回は併せて、ナフサショックによる建設資材の供給不足に対しての緊急支援も訴えました。

政府による社会保障国民会議では、消費税減税が議論されていますが、食料品の消費税0%は実現しそうもなく、早く実施ができる1%案が出てきています。それでも最速で来年の春とのことです。

ホルムズ海峡封鎖により、中東からの原油の供給量が激減し、原油価格の上昇で、食料品をはじめとした多くの物の価格が上昇していますが、賃金上昇率は低く、実質賃金は4年連続のマイナスが続いており、これでは生活が苦しくなる一方です。

また、原油由来の建設資材の価格高騰・資材不足・資材の入荷未定が続いていて、多くの不安を抱えたまま過ごしている組合員も少なくない実情も訴え、消費税の減税と早急な建設資材の目詰まり解消、そして事業継続と雇用維持に向けた融資拡充などの緊急支援を求める訴えもしました。



戸越銀座駅前にて

今回の駅頭宣伝では、建設業への緊急支援の訴えを盛り込みましたが、一般の方々には、それほど深刻な問題ではなさそうで、肌感覚としてはティッシュの減り方も遅いような気がしました。

それでも署名は49筆を集めて19時には終えることができました。

参加された組合員・家族の皆様、大変お疲れさまでした。

私たちはこれからも、組合員の生活を守るため、粘り強く訴えていきます。

税金対策部長 石塚 良美



大井町駅前にて

各会場工夫を凝らした企画で、集客を図る!

続けることが大切

小山分会
菊池 正志

6月21日、荏原南公園で、小山分会の住宅デーを、組合員9名と応援の方4名で開催しました。

前日からの雨が朝まで残り不安もありましたが、どうにか曇り空まで回復してくれ、お馴染みの包丁研ぎと輪投げ、住宅相談と、今年はヨーヨー釣りを復活させました。

包丁研ぎでは、天気が悪い中でも来ていただき、31名、本数では54本とまずまずの数でした。

住宅相談はありませんでしたが、アンケートは数名の方に答えてもらえ、品川区の住宅助成の話に興味を示した方もいました。

公園内は、小さなお子さんを連れた方が多く、ヨーヨー釣りと輪投げで、子供たちに楽しんでもらうことができました。

途中で雨が降り出し12時近くになると、ワールドカップサッカーの開始が近づいたせいか、潮が引くように人がいなくなりました。

1名時間を過ぎても、包丁を受け取りに来ない方がいましたが、どうにか渡すことができ、無事に終わることができました。規模は大きくありませんが、続けることが大切だと感じました。



復活!ヨーヨー釣り(小山分会)

今の会場で一番の数

品川分会
石谷 護

品川神社のお祭り後、6月14日(日)に、分会住宅デーを包丁研ぎと八丈島物産展をメインとし、天候にも恵まれた中、組合員7名・主婦から5名の参加で開催しました。

住宅デーの会場を変更して3回目となりますが、来場者52名、包丁研ぎ93丁と、今の会場になって1番の数となり、ようやく定着してきた感じてした。

包丁研ぎは忙しく、2名で2台の回転砥石で荒研ぎをしたおかげで仕上げも順調にいき、午後1時30分頃までには全て研ぎ終わりました。

八丈島物産展も最後は組合員の皆さんの協力もありながらとはなりましたが、完売することができました。

参加された皆さん、お疲れでした。



新しいのぼり旗を掲げて(品川分会)

今年も出店!

第54回
八丈島夏まつり

【八丈島分会発】

八丈島分会では、7月18日(土)～19日(日)に開催される、第54回八丈島夏まつりに、今年も夜店(※オモチャ販売)を出店します。

『お財布に優しい夜店』となっておりますので、島内の組合員・家族の皆さん、ぜひ遊びに来て下さい!お待ちしております!



昨年の様子

昨年来を大きく上回る結果

豊越分会
河崎 弘樹

私たち豊越分会は6月7日に第49回住宅デーを戸越2丁目広場に開催しました。

当日は曇りであり一瞬雨もばらつきましたが、なんとか天気も持ち気温も過ごしやすい状況でした。朝早くから分会の皆さんと準備を進める一方で、この日は地域のお祭りがあり、また戸越公園でも他組合が住宅デーをやるということで今年は来られる方が少ないかもと話していました。

しかし、午前10時開始にもかかわらず9時半ごろから包丁を持った方々が続々と来られたため時間を早めて受付開始。あれよあれよと包丁が溜まっていく状況に研ぎ手もすぐにフル稼働となりました。

その他にも「三陸ワカメ販売」、案内ハガキ持参の方に「お米が当たる抽選会」も行い、どちらも好評で、来られた皆さんに大変喜んでいただきました。

今回、参加組合員11名、主婦の会2名と応援で駆けつけてくださった佐藤副委員長(本当にありがとうございます!）、ワカメ100袋完売、来場者数は約70人、包丁研ぎは116丁という昨年来を大きく上回る結果となりとても良かったと思います。

また課題として、【開催日程が地域のお祭りと重なってしまい、住宅デーに参加出来ない組合員がいた】【ワカメが早々に売り切れてしまい買えない方がいた】【包丁の渡し間違いが発生してしまいましたが、書記の迅速な対応で解決は出来たものの、間違われた方を長時間お待たせしてしまっ】こと等の意見があがりました。

これらを踏まえて、来年は、新たな組合員が参加でき、来られた方に喜んでいただける住宅デーを目指し頑張っていきます!



早々に完売!(豊越分会)

新しい参加者と住宅相談

南品川分会
渋谷 俊一

令和8年6月14日、久しぶりに天気に恵まれて住宅デーを開催できました。昨年の反省を踏まえ頑張りましたが、期待ほど客足が伸びず、昨年並みの成果に終わりました。

但し、新しく参加してくれた方が1名だけでも居た事と、昨年なかった住宅相談が2件あったことが成果でした。

包丁の研ぎ手が少ない中、また高齢者の多い中皆さん一生懸命頑張ってくださいました。

今回の住宅デーは、今回意外とお子様連れの方が多かった割に、子供向けの企画が少なかったので、もう少し充実させたい事と、三陸わかめが開始早々に売り切れた事を改善していこうと思います。また来年も頑張ります!



ベテランが厳しくチェック(南品川分会)

来場者は昨年の1.5倍!

西品川分会
加藤 研二

5月31日第49回住宅デーが、三ツ木公園で行なわれました。

西品川分会と後地分会合同で行ない、参加者は23名でした。天候も良く、昨年の1.5倍程の来場者がありました。

模擬店は、ピザ・フランクフルト・磯辺焼き・ワカメ販売。ピザは本格的なピザ窯で焼き、評判は上々でした。

モザイクタイル17枚・また板削り20枚・包丁研ぎ126本と昨年より多くなりました。

当分会の住宅デーは、6月の貴船神社祭礼に合わせて一週間前に行なうのが以前からの慣例の様です。それは、祭りに来るお客様に料理を美味しく振舞う様、包丁を研ぎ、まな板を削ります。この住宅デーはこのように地域の皆様に貢献できる良い行事だと思ひながら毎年参加しています。

また、地域の人達との触れ合いもあり組合員の増強運動の一環にもなると思ひます。

反省として、募金が昨年よりも少なくなり、来場者への声かけ、募金箱の設置場所等、意見がでました。



ピスを着て品川支部をアピール(西品川&後地分会)

片づけが終わりかけた頃

二葉分会
村越 千秋

二葉分会は6月7日に住宅デーを行ないました。

当日は雨予報も出ていた曇り空でしたが、逆にそれが功を奏してか、開始時間前から包丁を研いで欲しい人が並び始め、中には、広報誌を見て支部に問い合わせたから来てくれた人もいました。

無事返却も済み、時間になって片づけが終わりかけた頃、包丁を持ってきた人がおりましたが、吉川分会長の「やりましょう」の一声で、研ぎ始めた研ぎ手さんたちを素晴らしいと思いました。

当初2人の予定だった研ぎ手が6人に増え、97丁の包丁を研ぎあげてくれました。お疲れ様でした。

来年以降、他の催し物もやってみるとのこと。新しい参加者を増やして盛り上げていきたいです。



しっかり確認(二葉分会)

刃がついていく達成感を

五反田分会
岩崎 幸仁

五反田分会では、6月7日に『住宅デー』を開催しました。天気予報では、午後2時頃から雨が降り始める予報でしたが、午前11時頃にパラパラと雨が降り始め、参加者一同少しザワついた場面もありましたが、ベテラン組員さん達の過去の経験から完璧なテント設営のおかげで慌てる事もなく、雨がやんだ事も気が付かないくらいでした。その後は曇りのまま穏やかにご近所の方々がお越しくださいました。

包丁研ぎの学習会に参加しましたが、いざ実践となると、色々な素材や形状をした包丁が持ち込まれ、戸惑いながらも、学習会で教わった基礎を思い出しながら、刃がついていく達成感を

励みに楽しみながら包丁研ぎをすることができました。

くじ引きや、輪投げで上等な品物が当たった方々の喜ぶ声も聞こえ、包丁を受け取りに来られた方からの感謝の言葉を聞きながら、怪我人も無く、とても良い住宅デーとなりました。



お米が当たる抽選会も(五反田分会)

住宅デーに参加して

後地分会
中佐 博之

東京土建に加入して、初めて住宅デーに参加しました。最初はどのような事をやるのか、良く分かりませんでしたが、当日、車から降ろす道具などをみて「ああ、なるほどな」と。「ちょっとしたお祭りなのか」と。

しかし始まると、だいたいの様子が違うことに気づきました。メインは包丁研ぎだと。色々な下準備をし終え、5人～6人の方がスタンバイをし、さぁスタートです。

30分、1時間、住民の方が持ってくる包丁が、次から次へとあつという間に溜まっていきました。

1人の方が包丁1本を研ぐ時間は、傷み具合ややり方等で仕上がる時間に差があります。

座ってやっているとはいえ長時間同じ姿勢での作業、腰への負担は結構きついでらうなと、素人が簡単に出来る作業ではなく、安易な事は言えませんが、来年は研ぐ人が増えたらいいなと(※私は腰が悪いのでちょっとキツイかも)と思った1日でした。



1枚1枚丁寧に(西品川分会&後地分会)

貴重な体験めじろ押し! 国内流通量0.01%のバナナも収穫!

恒例!後継者対策バスハイク開催!

後継者対策部長
石井 伸弥

5月24日(日) 43名の参加でバスハイクを開催しました。

当日の天気はそこそこ良く、まずは『はちみつ工房』での工場から、しぼり立てのハチミツの試食やハチミツから作られるお酒の試飲ができました。



みんな笑顔で記念撮影

その後、海鮮バーベキュー会場内は、空調がしっかりとついていて、建物の中は暑かったです。お酒も進んで、みんな楽しそうでした。

国産バナナのバナナ狩りでは、国内流通量わずか0.01%と言われる、非常に希少なバナナを食べることができ、うちの子供たちも大変喜んでおりました。帰りは特に渋滞などもなく、帰路に着くことができました。

とても良い思い出

後地分会

田中 美羽(中一)

今回初めてバスハイクに行ったのですが、とても楽しかったです。

公園では、親御さんが手を貸して遊ぶような年代の子供たちが多くいます。

大井分会
中澤 和夫

近所を「ぶらり」散歩

いっぴく



人が鉄棒けんすいをして頑張っています。

最近近くにある、品川区民公園に行くようになり、公園の入口左側の所にあるベンチで、散歩の準備と、少し腕立て伏せをした後、日光浴で身体に浴びるようにベンチに座りひと休み。横では若

私が準備万端整、ウォーキングへと公園内へ。園内は前とは少し変わって、新しくなり、入口から進むとサッカー場、野球場、テニスコートもあり、その先では親子でサッカーをして遊んでいます。

また、東京土建でも使わせてもらっていたバーベキュー場もあり、気候も暖かくなってきたことからテラホラと、缶ビールを持ってバーベキューを楽しんでいる姿も見られます。



上手に採れるかな?



海鮮BBQ!

熱中症に対する理解を深める

熱中症予防教育講習会開催

技術対策部報告

6月21日(日)に、支部会館にて「熱中症予防」の講習を行いました。今回の講習は年々気温

の上昇が続く、熱中症対策がますます重要となる中での開催となりました。

当日は小林委員長が講師を務め、熱中症の症状や予防についてテキストやDVDで学習をし、また

実体験を通じた話しや、熱中症の自動測定器を実際に手に取ってもらった。りしながら、熱中症に対する理解を深めました。

今後品川支部では、安全対策、技術向上をめざし、講習の取り組みを行っていきます。



久しぶりの支部講習会

仲間が作った道

組合の歩みを読む

労働組合の歴史②

一日14時間、15時間という過酷な労働環境で働いていた労働者たちの唯一の息抜き場所が、『パブ(※居酒屋兼コミュニティハウス)』でした。

パブに集まった人たちが、お酒を飲みながら『仕事への不満』『これからの不安』などを語り、会社への怒りや不平感などをぶつけ、日々のストレスを発散していました。何だか、今に通じるものがありますね。

やがてこの労働者たちは、病気やケガをしたりした時に(※当時は医療保険などありません)それぞれの給料の一部を出し合って助け合うような仕組みを作りました。そのお金は『パブの親父』が預かり、管理していました。今でいう、『共済制度』や『労働金庫』が生まれたのです。

そのうち、互いの賃金や働く環境をお互いが知るようになり「これ以下に安いの賃金で働くのはめんどろ!」という取り決めが始まり、次に「これ以上長い時間働かない!」という労働時間の取り決めも始まりました。こうした働く環境を改善しようという労働者の輪が広がり、『労働組合』が誕生しました。

ちなみに、最初は『一杯の黒ビールの会』と言われ、組合事務所は『パブ』に置き、パブの店主が代表(※委員長)兼会計でした。

